

争を周旋することである。即ち耕作權、因結權、罷米權の確立、言論集  
会結社の自由、小作人及び労働者の完全なる組合法の獲得等の労働者及  
農民の要求を戦い争うところに、大衆の無産階級の政治意識を喚起し彼  
等と無産階級の戦線上に動員することによって、来るべき第五十二議会に對する  
も無産階級唯一の政治闘争を開始することである。

然しこれらも無産階級が既に獲得したブルジョアの代表者の独占機關であつて、これら  
を無産階級の要求を盾に議會に反跌せしめ、これが闘争の舞臺と化することは  
不可能である。故に労働者階級の任務は前述の無産階級の政治的要求の  
下に労働者階級を完全なる階級に動員して、先づ来るべき第五十二議会の即時解散  
を要求するに在り、無産階級の實現の期する。一六階級の請願運動を起すこ  
とである。

無産階級の請願運動の意義は廣く民衆の署名を求め其の一六集積をなし  
遂げることに在り、労働者の無産階級の政治意識を喚起し直接我等が闘争に  
協力せしめることに在り。従つて労働者がかかる要求の下に議會解散の請願  
運動を起すことは當然ではある。然しこの大衆として、党の活動に参加せしめ、彼等を訓練し  
やがて無産階級として獲得する所の大きな意義と効果とをもたらすもので  
ある。同時に結果に於て、現闘争に空文として存在する普通選挙の制度を

實施せしめるところの無産階級の政治闘争を展開するのであつて、之によつても大  
衆を自覚せしめ、党發展の重大なる機会を得るものである。

しかしながら労働農民党は第三回中央委員會に於て、従同盟の日和見  
主義的右翼幹部のために強硬なやうに、所謂三団体の排斥を決議し今  
や正に階級闘争党としての本質を小ブルジョア議會党にまで変質せしめられ  
んと一つある。従つて以上の如き重大なる任務を遂行するためには、党を實際  
上構成してゐる所の各地方支部又は支部聯合會並に支部組織準備會の  
決死的奮起と、各地方組合會議乃至は地方無産団体の意識的協力によら  
なければ、實際上實行甚だ困難になつてゐる。

我が日本労働組合評議會第三回中央委員會はかかる情勢に鑑み、この重大  
なる労働農民党当面の運動を展開せしめるために、加盟各組合が其の地方に  
於ける党の各支部又は支部聯合會其他並に地方組合會議又は地方無産  
団体協議會の躍起を懇願し、それらに協力することに依つて左の如き方針に  
基き、この運動を發展せしめんとす指令するものである。

### 一、運動方針

加盟組合は其地方に於ける労働農民党の支部又は支部聯合會を動かして